



[公財] 日本太鼓財団

NIPPON TAIKO FOUNDATION

会報

発行・編集 2016年 4月

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5階

公益財団法人日本太鼓財団 理事長 塩見 和子

Tel.03-6229-5577 Fax.03-6229-5580

URL: <http://www.nippon-taiko.or.jp> Email: info@nippon-taiko.or.jp

「手取亢龍若鮎組」が436チームの頂点に立ち3度目の栄冠に輝く!!

第18回日本太鼓ジュニアコンクール



(選手宣誓:「田島太鼓龍巳会『白鼓』」
渡部龍大さん、渡部晃大さん)

3月20日(日)、日本太鼓財団主催、全九州太鼓連合、大分県支部主管により第18回日本太鼓ジュニアコンクールを大分県大分市のiichiko総合文化センターグランシアタにおいて満員となる2,000名のお客様を前に開催いたしました。

内閣総理大臣賞、総務大臣賞、文部科学大臣賞を目指して全国37都道府県から(予選実施33支部391チーム4,089名、支部推薦6チーム)から選抜された51チーム576名(最年少7歳、出場者平均年齢14.04歳)に加え、ブラジルチーム13名(予選14団体137名参加)、台湾チーム12名(予選25団体269名参加)の総勢601名が出場しました。さらに前年度優勝チーム「橘太鼓『響座』ジュニア」、アルゼンチンから「ラプラタ太鼓」(13名)が特別出演として参加いたしました。

開会式は、優勝旗を手にした前年度の優勝チーム「橘太鼓『響座』ジュニア」(宮崎)、アルゼンチンの「ラプラタ太鼓」、ブラジルの優勝チーム「コロニアピニャール飛翔太鼓」、台湾の優勝チーム「天祥太鼓團」が中央に並び、全チームが整列して行われました。

国歌斉唱に続き、日本太鼓財団松本英昭会長、二日市具正大分県副知事、佐藤樹一郎大分市長、衛藤晟一参議院議員、全九州太鼓連合長谷川義名誉会長が挨拶。そして、「橘太鼓『響座』ジュニア」より優勝旗並びに優勝杯が返還され、優勝杯レプリカと太鼓が贈呈されました。

続いて抽選で出演順1番目となった福島県代表「田

島太鼓龍巳会『白鼓』」の双子の兄弟、渡部龍大さんと渡部晃大さんが、息の合った選手宣誓を行い、次いで長谷川副会長による初っ切り太鼓が演奏され、いよいよコンクールが幕を開けました。出場53チームは、大会要領に基づき長谷川副会長作曲による課題曲「大和」と自由曲を5分以内で演奏しました。各チームの演奏が終わる度に、満員のお客様より心からの拍手と声援が送られました。

53チームの演奏の後、アルゼンチンの「ラプラタ太鼓」、前回優勝した「橘太鼓『響座』ジュニア」が特別演奏を披露し、全ての演奏が終了しました。閉会式では、審査委員の渡辺貞夫氏と喜多郎氏の講評と塩見審査委員長より総評があった後、結果が発表され、「手取亢龍若鮎組」(石川)が栄えある内閣総理大臣賞に輝きました。

優勝チームが発表された瞬間、会場の張り詰めた空気が一転し、割れんばかりの拍手が沸き起こりました。

「手取亢龍若鮎組」は、小学4年生から高校3年生までの11人で構成されたチームで、安江信寿氏の指導の下、練習を積み重ね、3度目の優勝に輝きました。また、「輪島・和太鼓虎之介」(石川)が第2位となり総務大臣賞を受賞。第3位には「コロニアピニャール飛翔太鼓」(ブラジル)が文部科学大臣賞を受賞しました。「天祥太鼓團」(台湾)は、特別賞を受賞しました。

出場全チームがこれまでの練習の成果を余すところなく発揮し、共に競い合った一日でした。今回の大会を通じて多くのことを学び、今後の活動に活かしていくことを期待しております。

また今回もインターネットによる全世界生中継を行い、開始直後よりブラジル、アルゼンチンをはじめ海外からも感想などの書き込みが寄せられました。

最後に、審査委員、技術委員の先生方、ご父兄並びにご来場の皆様、そして参加者のために行き届いた心配りをして下さった延べ250名もの全九州太鼓連合の皆様にご心より感謝とお礼を申し上げます。

第19回大会は、兵庫県神戸市で開催!

第19回日本太鼓ジュニアコンクールは、来年2017年3月19日(日)、兵庫県神戸市の「神戸国際会館こくさいホール」にて開催いたします。

受賞一覧

優勝・内閣総理大臣賞
 準優勝・総務大臣賞
 第3位・文部科学大臣賞
 第4位・大分県知事賞
 第5位・大分市長賞
 特別賞 大分県教育委員会教育長賞
 大分市教育委員会教育長賞
 おんせん県おおいた賞
 NHK大分放送局長賞
 OBS大分放送賞
 TOSテレビ大分賞
 OAB大分朝日放送賞
 大分合同新聞社賞
 株式会社浅野太鼓楽器店賞
 株式会社宮本卯之助商店賞
 ブラジル太鼓協会賞
 台湾太鼓協会賞
 アルゼンチン太鼓協会賞
 国際友好賞(太鼓贈呈)
 国際友好賞(太鼓贈呈)
 国際友好賞(太鼓贈呈)

手取亢龍若鮎組(石川県)
 輪島・和太鼓 虎之介(石川県)
 コロニアピニャール飛翔太鼓(ブラジル)
 和太鼓たぎり(福岡県)
 東京都立美原高等学校 和太鼓部(東京都)
 ZENKAI太鼓「和」(大分県)
 天祥太鼓團(台湾)
 信濃国松川響岳太鼓子供会(長野県)
 日南太鼓衆「爽空」(宮崎県)
 日向の国「響」(宮崎県)
 源流はさま太鼓(大分県)
 人吉ねぶか太鼓(熊本県)
 おおむら太鼓連くじら太鼓(長崎県)
 あそびっ鼓組“遊”(青森県)
 上州榛東ふるさと太鼓(群馬県)
 田島太鼓 龍巳会「白鼓」(福島県)
 和太鼓集団 夢幻の会(香川県)
 二丈太鼓「恬」(福岡県)
 コロニアピニャール飛翔太鼓(ブラジル)
 天祥太鼓團(台湾)
 ラプラタ太鼓(アルゼンチン)

*優勝した「手取亢龍若鮎組」(石川)から感想文をいただきましたので掲載いたします。

「一生懸命が美しい」

指導者 安江 信寿

今年も若鮎組は、「一生懸命、息を合わせて心一つ」を合言葉に子供たちと夢に向かって、稽古を始めました。

今回、小学4年生から高校3年生の子供たち11人と挑戦です。課題曲が届き、練習日程を作り、ようやく本格的な稽古を始めました。

- ・相手の目を見て大きい声で返事。話は目で聴け。
- ・稽古中の失敗は、どれだけしても良い。夢をかなえる為だから。
- ・掛け声は自分とチームに気合を入れるためと、息を合わすため。
- ・褒められて反省、叱られて感謝。(常に謙虚で)
- ・仲間を信じて一つの空気になろう。
- ・上手な演奏より心のこもった演奏。

もっともっとたくさんの事を、口うるさく言ってきました。昨日出来なかった事が、今日出来ていたら必ず褒めました。稽古日は毎回「道德」の時間でした。

今回もたくさんの方々を支えられ、素晴らしい演奏をすることが出来ました。

子供たちには、ずっと言い続けてきた言葉を忘れないで、これからも頑張ってくださいと願っています。

また、この度は私にも大勢の方々から、励ましのお言葉、助言をいただき感謝にたえません。

塩見理事長より、子供たちに心構えの言葉を戴きました。

「あなた方は、今回良い成績を修めることが出来ました。良いことがあった時こそ、周りの人に感謝を出来る人に。又、優勝出来たからこそ、全ての人に思いやりを持って、『優しい人になりなさい』

ありがとうございます。



(優勝時の演奏)



(長谷川副会長から優勝旗を授与)

全国大会を通じて

リーダー 橋本 萌々香(18歳)

高校3年の私にとって、今回のジュニアコンクールが人生の中の最後のコンクールでした。

今回、ジュニアコンクールが行われたのは大分県だったので、リハの日のほとんどが、移動時間で、いつもなら納得のいくまで出来た膝打ちも、声出しも全くできないままリハーサルをしました。ホールは広く、音の聞こえ方がいつもと違い、不安が残ったままリハを終えました。ホテルに帰り、皆で話し合いをし、何があっても仲間を信じて本番は楽しもうと自分自身に言い聞かせました。本番前でも、膝打ちや声出しは十分に行えず、不安を抱えたまま演奏がスタートしました。演奏が始まると今までの不安が嘘のように消え、仲間と目が合う度、安心し、心から楽しい、と思える演奏をする事が出来ました。「一生懸命が美しい」、この言葉のように、一生懸命にすれば、結果は必ずついてくる、と信じていました。しかし、周りのチームは凄く上手だし、益々不安が募っていきました。

結果発表がやってきて、特別賞が終わり、5位、4位、3位・・・と続いて、名前が呼ばれず、もうだめかもしれない、と諦めていました。そんな中、優勝チームの発表で、「石川県代表・・・」と呼ばれたのです。嬉しさと驚きで、涙どころではありませんでした。何よりも、ここまでご指導下さった安江師匠や支えてくれた親や地域の方達への感謝の気持ちでいっぱいでした。あと1年、このメンバーと一緒に演奏できる事がとても嬉しいです。

これからは、出番の時は、優勝チームとしてお客さんや太鼓関係の方から見られていると思います。なので、常に100%の演奏ではなく、120%、200%の演奏が出来るように練習をしていきたいです。

「一生懸命が美しい」、この言葉を胸に、日々頑張っていきたいです。

審査委員

塩見 和子(財団理事長)*審査委員長
王 妙 涓(台湾太鼓協会理事長)
岡田 知之(洗足学園音楽大学名誉教授)
喜 多 郎(音楽家)
西角井正大((公財)国立劇場おきなわ運営財団理事)
長谷川 義(財団副会長)
古屋 邦夫(財団技術委員会委員長)
渡辺 貞夫(音楽家) (五十音順・敬称略)

<審査講評>

ジュニアコンクール終了後にとりまとめ、各出演団体に送付いたしました審査講評の要点を以下に抜粋しますので、参考にしていただき、今後益々精進されることを期待しております。

<全体>技術の向上が伺える反面、演奏前後に無駄な所作をするチームが多い。

<課題曲>テンポが不安定で、旋律が出ていないチームが多かった。

<自由曲>太鼓の数量が多く、速いテンポで合っていないうえに、大きな音量で演奏するチームが目立ち、聞いていて苦痛を感じる場合がある。しっかりとした音も出せない笛の使用が多く疑問を感じる。

最高の涙で終えたジュニアコンクール

演奏者 原田 恵実(13歳)

「優勝は・・・手取亢龍若鮎組です。」

その言葉を聞いた瞬間、みんなが歓声をあげた。今回は新人が3名入り、みんなで心一つに楽しく演奏することを目標としていた。それが審査員に認められたんだと思うと、うれしくてたまらず自然に涙があふれてきた。そして、チームワークが大事、一生懸命に気持ちを込めて演奏することの大切さを改めて学んだ。

本番前日、師匠と今回で卒業するリーダーにみんなの手紙を書き、自分の思いを伝えた。そしてリハーサル、いつもの練習場とは響きが全く違い、みんなが思い通りに演奏出来なかった。その夜、みんなが集まって思いをぶつけあった。メンバーはもちろん師匠や親達も「不安」という一言だった。でも、決して悔いの残ることのないようにみんな楽しく演奏ができるよという思いが強まった。

本番当日、いつもはひざうちをしたり、ふりを合わせたり、心の準備を少しずつしながら本番に挑んでいた。が、今回の出演順番は12番、みんなとしっかり準備ができず不安なまま舞台裏に。そこで母が師匠のメッセージを伝えてくれた。

「一生懸命が美しいを忘れず、失敗を恐れず、仲間を信じて太鼓を楽しんで下さい。」

師匠の言葉でみんなが安心して、5分間精一杯若鮎の太鼓を楽しもうと思った。

課題曲、テンポが変わるとても難しい曲だったが、強弱を意識し、今まで以上の最高のものになった。自由曲、毎年少しアレンジはするものの川北町の豊かな自然の恵みを表した師匠のこの曲で勝負してきた。虫送りは他のチームの太鼓と比べると少し地味かもしれない。でも誇りを持ち、堂々と演奏することができた。そして師匠や今まで支え、応援してくれた父兄や先輩、そしてチームのメンバーに感謝の気持ちを込めて演奏することができた。演奏後はやりきったうれし涙が流れた。そして私にとって2度目の全国優勝で最高のうれしい涙で終えた全国大会だった。

この感動を忘れずにこれからも若鮎らしい演奏をして、太鼓を楽しみたいと思った。

海外太鼓交流～ブラジル・台湾・アルゼンチン招請～

ジュニアコンクールには、12回目となるブラジルと6回目となる台湾のチームの出場に加え、2回目のアルゼンチンが特別演奏を披露しました。

ブラジルからは昨年7月に行われた「第12回全ブラジル太鼓選手権大会」のジュニア部門(14団体137名参加)でブラジル初となる2度目の優勝を果たした「コロナピニャール飛翔太鼓」の14歳から18歳の男女13名と、引率5名の総勢18名が来日。台湾からは昨年10月に行われた「第6回台湾太鼓青少年選手権」(25団体269名参加)で3度目の優勝を果たした「天祥太鼓團」の9歳から18歳の男女12名と、引率6名の総勢18名が来日。またアルゼンチンから「ラプラタ太鼓」(11歳から18歳の女子13名と、引率4名の総勢17名)がジュニアコンクールに参加することとなり、特別演奏を披露しました。

3月18日(金)、ブラジル・台湾・アルゼンチンの3チームは別府地獄めぐりをし、昼食にはとり天を食べるなど大分県の名物を楽しみました。19日(土)には、前回優勝の「橘太鼓『響座』ジュニア」も加わった交流会を行いました。子供達は英語や日本語を一生懸命話しながら交流を深め、またお互いの出し物に大きな拍手を送り終始笑いの絶えない楽しい会となりました。

ブラジルチームはコンクールで、地元の村の星空を眺めながら作曲した「星祭り」を演奏、台湾チームは「隼」を披露しました。アルゼンチンチームは「南へ」を特別演奏として披露、3チームそれぞれ課題曲とともに、練習の成果を見事に発揮した立派な演奏で、観客から大きな拍手を受けていました。

緊張で張り詰めた結果発表では、ブラジルチームは第3位・文部科学大臣賞を受賞、台湾チームは特別賞を受賞し、海外における太鼓演奏の技術向上が感じられました。

メンバーたちは一様に「日本のジュニアチームのレベルの高い演奏や舞台進行を目の当たりにして驚くとともに感動した」、「自分達も益々がんばっていききたい」と話していました。



(交流会の様子)



(ポートレース若松での演奏風景)

翌日21日(月)、台湾チームは北九州市内を見学し、22日(火)に帰路につきました。

ブラジル・アルゼンチンチームは21日(月)、長谷川・古屋両先生の特別講習会を受講。終了後にバスで福岡県へ向かい、北九州市のポートレース若松にて2回、太鼓演奏を披露しました。

22日(火)、午前中にポートレース芦屋にて太鼓演奏を披露した後、広島県まで移動し、夕方にポートレース宮島にて演奏を行いました。3つのレース場で延べ500名のお客様に、ブラジルとアルゼンチンの子どもたちの演奏を楽しんでいただきました。

23日(水)、日本三景の一つ厳島神社を参拝した後、広島から山梨へ移動し、バスの中から夕日に照らされる富士山を見ることができ、みんな大喜びでした。

24日(木)、日本財団を表敬訪問し、尾形理事長より歓迎と励ましのお言葉をいただきました。日本の印象や感想などの質問を受け、メンバーは緊張しながらも1つ1つ言葉を選びながら答えていました。

穏やかな春の陽気の中、東京では桜が開花し、「太鼓演奏はもちろんのこと、あこがれの日本で素晴らしい体験をし、一生忘れない良い思い出となった。皆様に感謝したい。学んだことを次につなげて、これからもがんばって太鼓を続けていきたい」と元気に日本を後にしました。



(日本財団尾形理事長と記念撮影
写真提供:日本財団)

第10回全九州・日本太鼓ジュニアコンクールを開催！

2015年12月23日(水祝)全九州太鼓連合主催の「第10回全九州・日本太鼓ジュニアコンクール」が、九州7県より40チームが参加して長崎県佐世保市で開催されました。2012年度より、全九州太鼓連合と台湾太鼓協会の協議により双方のジュニア大会で優秀な成績を収めたチームが、互いのジュニアコンクールに出演することとなり、台湾の準優勝チーム「泰山太鼓團」が特別出演いたしました。レベルの高い争いを制し、「日向の国『響』」(宮崎)が優勝を果たしました。審査委員並びに結果は、次の通りです。

<結果>

優勝：日向の国「響」(宮崎県)
 準優勝：日南太鼓衆「爽空」(宮崎県)
 第3位：志布志ちりめん太鼓(鹿児島県)
 第4位：ZENKAI太鼓「和」(大分県)
 第5位：おおむら太鼓連くじら太鼓「海」(長崎県)
 特別賞：太鼓研修センター「響」(宮崎県)、大和太鼓保存会鼓天童子(佐賀県)、人吉ねぶか太鼓(熊本県)、由布はさま太鼓(大分県)、南洲太鼓ジュニア(宮崎県)、霧島九面太鼓保存会郷花(鹿児島県)、龍潮太鼓いろは隊(宮崎県)、火の神乙女太鼓爽(鹿児島県)、希望が丘高等特別支援学校(長崎県)
 浅野賞：熊本市立必由館高等学校和太鼓部(熊本県)
 財団賞：和太鼓たぎり(福岡県)

<参加団体> 40団体

福岡5、大分3、長崎8、佐賀5、熊本7、宮崎7、鹿児島5
 特別出演：「泰山太鼓團」(台湾ジュニアコンクール準優勝チーム)

<審査委員>*敬称略

古屋邦夫(日本太鼓財団技術委員長)*審査委員長
 江頭啓輔(三菱ふそうトラック・バス(株)特別顧問)
 田中久仁明(一般社団法人日本マテングバンド協会理事長)
 修行兼一郎(日本太鼓財団2級公認指導員)
 木下恒存(三味線奏者)



(台湾・泰山太鼓團)

<第55回日本太鼓全国講習会(長崎)>

2月20・21日(土日)、全九州太鼓連合、長崎県支部主管による全国講習会を大村市の「シーハットおおむら」にて実施いたしました。全国13都道府県に加え、台湾・シンガポール・アルゼンチンを含めた194名が受講、更新研修会には17都道府県から34名が参加しました。開会式では園田大村市長、財団塩見理事長と全九州太鼓連合長谷川名誉会長から励ましと歓迎の挨拶があり、講習会が始まりました。受講生たちは一生懸命、講習に励んでいました。

- | | | | | | |
|---------|------|-------|--------|------------|-------|
| ○基本講座講師 | 総合指導 | 古屋 邦夫 | ○専門講座 | 三ツ打太鼓講座 | 河合 睦夫 |
| 3級基本講座 | | 安江 信寿 | | 縮太鼓講座 | 長谷川 義 |
| 4級基本講座 | | 若山 雷門 | | 秩父屋台囃子太鼓講座 | 高野 右吉 |
| 5級基本講座 | | 田中 俊己 | ○更新研修会 | | 浅野 昭利 |

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

- | | | |
|------|-------|--------------|
| 1級検定 | 21名受験 | 21名合格(2名認定) |
| 2級検定 | 40名受験 | 40名合格(22名認定) |
| 3級検定 | 16名受験 | 16名合格 |
| 4級検定 | 26名受験 | 26名合格 |
| 5級検定 | 56名受験 | 56名合格 |

◇第6期公認指導員更新研修会

42名が更新手続きを完了しました。



(5級基本講座の様子)

成田太鼓祭に参加 ～全国太鼓情報発信基地に多くのお客様～

4月9・10日(土日)、千葉県成田市において「成田太鼓祭」が開催され、今年も23万人もの人が訪れました。千葉県支部、千葉県太鼓連盟、当財団の共催により設置した「全国太鼓情報発信基地」のブースには両日合わせおよそ3,500人のお客様が訪れ、展示した事業紹介のパネルをご覧いただきました。浅野太鼓のご協力を得て設置した大太鼓をお客様に実際に叩いてもらうコーナーでは、多くの方々が太鼓に親しまれていました。



(全国太鼓情報発信基地の様子)

鼓童×源流 日本和太鼓 PREMIUM CONCERT 2016 「打つ」

1月29日(金)、大分県大分市iichiko総合文化センターグランシアタにおいて、「鼓童×源流 日本和太鼓PREMIUM CONCERT 2016『打つ』」が開催されました。「豊の国ゆいん源流太鼓」(代表:長谷川義)と「鼓童」のスペシャルメンバーによる夢の競演が実現しました。

共に熱のこもった素晴らしい演奏を披露し、満員の観客から熱い拍手を浴びていました。双方とも最高と言える演奏を繰り広げ、特に「豊の国ゆいん源流太鼓」と「鼓童」による合同演奏は普段見ることの出来ない風景でした。

今世紀最大のコンサートは、次回への楽しみを残しながら幕を閉じました。全国はもとより、台湾からも駆け付けた観客の皆さんは満足そうな表情を浮かべて帰路につかれています。



信州上田真田陣太鼓保存会 発足30周年記念コンサート

2015年12月20日(日)、長野県上田市交流文化芸術センターサントミュージアム大ホールにおいて、「信州上田真田陣太鼓保存会発足30周年記念コンサート」が開催され、当財団から中西常務理事が出席しました。

「信州上田真田陣太鼓保存会」は、1984年NHK時代劇ドラマ「真田太平記」の放送を機に、戦国の知将として知られる真田昌幸・幸村の知略と武勇を太鼓で表現し、上田市の産業・文化・芸能の発展に貢献するために発足されました。今後のさらなるご活躍を期待しております。



第31回国民文化祭・あいち2016「太鼓の祭典」 出演団体決定

期日：2016年11月20日(日) 開場9:00 開演10:00 終演予定17:30

会場：名古屋国際会議場センチュリーホール

愛知県名古屋市熱田区熱田西町1番1号 TEL.052-683-7711

主催：文化庁、愛知県、第31回国民文化祭愛知県実行委員会、公益財団法人日本太鼓財団

主管：日本太鼓財団愛知県支部、愛知県太鼓連盟

後援：名古屋市ほかを予定

協賛：日本財団

入場料：無料

オープニング演奏：愛知県太鼓連盟合同チーム(愛知)

公募団体：26団体(12都府県+台湾)

尾張新次郎太鼓保存会・海東流神楽太鼓保存会・松平わ太鼓・和太鼓パフォーマンス集団SERO・天くう・須成鼓笛保存会・大治太鼓保存会(以上愛知)、和太鼓いぶき(秋田)、澤目獅子踊り保存会(岩手)、鼓風(宮城)、下野不動太鼓保存会・北総警荒鷲太鼓(以上栃木)、高野右吉と秩父社中(埼玉)、浅草わんぱく太鼓(東京)、信州上田真田陣太鼓保存会(長野)、藤枝太鼓(静岡)、童心飛騨高山太鼓團・鼓國雷響JAPAN(以上岐阜)、やまと獅子太鼓(奈良)、関西福祉大学金光藤蔭高等学校和太鼓部「鼓響」(大阪)、倉敷天領太鼓(岡山)、広島文教女子大学附属高等学校和太鼓部「文教太鼓葵」・銭太鼓高杉会(以上広島)、岩美龍神太鼓・逢鷲太鼓連(以上鳥取)、台湾太鼓協会合同チーム(台湾)

ゲスト団体：5団体(5都県)

手取亢龍太鼓保存会(石川)、蘭導(秋田)、御諏訪太鼓保存会(長野)、大江戸助六太鼓(東京)、豊の国ゆいん源流太鼓(大分)

各種会議を開催

第56回運営委員会並びに第55回技術委員会が1月7日(木)に東京にて開催され、次の事項が審議、承認されました。

<運営委員会・技術委員会>

1. 「2015年度事業の実施状況について」
 - ①第18回日本太鼓ジュニアコンクールについて
課題曲、出場団体に関して審議し、決定すると共に、抽選により出場順番を決定した。
 - ②第19回日本太鼓全国フェスティバル実施報告について
 - ③第30回国民文化祭かごしま2015和太鼓の祭典の実施報告について
 - ④第17回日本太鼓全国障害者大会の実施報告について
 - ⑤第12回日本太鼓シニアコンクールの実施報告について
2. 「2016年度事業の実施について」
 - ①2016年度事業の実施について
 - ②日本太鼓助成金交付事業について
・2016年度助成金交付35事業のうち、申請のあった38事業についての説明の後、審議に移り、三重県から申請のあった伊勢サミット関連4事業は1事業として採択され35事業が承認された。
 3. 日本太鼓資格認定事業について
・2015年度において実施中の第6期公認指導員更新研修会の実施状況が説明された。
・日本太鼓資格認定規程細則の一部変更について
 4. ブロック区分について
・ジュニアコンクールの地区割りについて、静岡県を関東地区に変更することが承認された。

理事会並びに評議員会が3月10日(木)に東京にて開催され、次の事項が審議、承認されました。

<理事会>

1. 2015年度収支予算の変更について
2. 2016年度事業計画及び収支予算について
3. 特定個人情報取扱規程の制定について
4. 評議員会の開催について
5. 職務執行状況について

<評議員会>

1. 2015年度収支予算の変更について
2. 2016年度事業計画及び収支予算について
3. 特定個人情報取扱規程の制定について
4. 職務執行状況について

2016年度日本太鼓助成金交付事業決定のお知らせ

運営委員会において、次の35事業が承認されました。報告書受理後、助成金20万円が交付されます。

<支部講習会> 7事業(海外含む)

- | | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| 6月11・12日(土日)日本太鼓支部講習会(栃木県矢板市) | 10月29・30日(土日)日本太鼓支部講習会(北海道稚内市) |
| 7月2・3日(土日)台湾太鼓講習会(台湾桃園県) | 1月14・15日(土日)日本太鼓支部講習会(岡山県倉敷市) |
| 9月24・25日(土日)日本太鼓支部講習会(北海道岩見沢市) | 2月4・5日(土日)日本太鼓支部講習会(東京都港区) |
| 10月15・16日(土日)日本太鼓支部講習会(北海道釧路市) | |

<教職員研修会> 6事業

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| 7月10日(日)栃木県教職員太鼓研修会(栃木県宇都宮市) | 8月5日(金)北海道道西教職員太鼓研修会(北海道砂川市) |
| 7月29日(金)北海道道東教職員太鼓研修会(北海道釧路市) | 8月21日(日)長崎県教職員太鼓研修会(長崎県諫早市) |
| 8月4日(木)群馬県教職員太鼓研修会(群馬県前橋市) | 9月22日(木・祝)長野県教職員太鼓研修会(長野県岡谷市) |

<一般事業> 22事業

- | | |
|--------------------------------------------|--------------------------------------|
| 4月～5月歓迎!伊勢志摩サミット2016応援告知イベント(三重県内) | 9月17・18日(土日)東京都支部サマナー(東京都大田区) |
| 5月14・15日(土日)無形文化財研究会(石川県能登町) | 9月25日(日)奥州太鼓フェスティバル(岩手県奥州市) |
| 5月29日(日)もりっと収穫祭「太鼓まつり」(秋田県河辺町) | 10月9日(日)全九州ジュニア和太鼓団体海外派遣交流(台湾桃園県) |
| 6月19日(日)東北太鼓フェスティバル(福島県郡山市) | 10月9日(日)台湾太鼓フェスティバル・ジュニアコンクール(台湾桃園県) |
| 6月11日(土)大学和太鼓祭(神奈川県横浜市) | 10月23日(日)日本太鼓ジュニアコンクール岡山県大会(岡山県倉敷市) |
| 7月16・17日(土日)北陸三県雷童マースクール(福井県大野市) | 11月13日(日)岐阜県太鼓まつり(岐阜県郡上市) |
| 7月17日(日)八丈太鼓六人会35周年記念公演(東京都八丈島町) | 11月27日(日)いわて太鼓フェスティバル(岩手県洋野町) |
| 7月23・24日(土日)全九州和太鼓マースクール(大分県由布市) | 11月27日(日)東北太鼓ジュニアコンクール(山形県酒田市) |
| 8月21日(日)日本太鼓ジュニアコンクール長野県大会(長野県上田市) | 12月4日(日)「めんめん街道」和太鼓フェスティバル(栃木県佐野市) |
| 8月28日(日)福井-和太鼓の祭典(福井県越前市) | 12月18日(日)全九州・日本太鼓ジュニアコンクール(福岡県飯塚市) |
| 9月3日(土)北海道道央支部結成15周年記念
北海道太鼓の響演(北海道札幌市) | 2月19日(日)関八州太鼓まつり(群馬県藤岡市) |

事務局だより

第56回日本太鼓全国講習会について

期日：2016年6月25日・26日(土日)

会場：湯沢文化会館(秋田県湯沢市字沖鶴103番地1 TEL. 0187-72-2121)

主催：公益財団法人日本太鼓財団

総合指導 古屋 邦夫(技術委員会委員長)

基本講座

3級基本講座 鈴木 孝喜

4級基本講座 渡辺徳太郎

5級基本講座(初心者講座) 松枝 明美

申込先：(公財)日本太鼓財団

〒107-0052東京都港区赤坂1-2-2

TEL. 03-6229-5577 FAX. 03-6229-5580

締切：2016年6月5日(日) 当日到着分まで有効

専門講座

大太鼓講座(単式単打法) 山内 強嗣(静岡)

縮太鼓講座(複式単打法) 長谷川 義(大分)

天邪鬼太鼓講座(複式複打法) 渡辺 洋一(東京)

講話 浅野 昭利(石川)

お問合せ：日本太鼓財団秋田県支部

TEL. 0187-69-2010 FAX. 0187-69-3369

第69回日本太鼓支部講習会について

期日：2016年6月11日・12日(土日)

会場：矢板市文化会館(栃木県矢板市矢板103番地1 TEL. 0287-43-2212)

主催：日本太鼓財団栃木県支部

<お問合せ・申込先>

総合指導 古屋 邦夫(技術委員会委員長)

日本太鼓財団栃木県支部

3級基本講座 松枝 明美

〒329-2504栃木県矢板市泉400-1

4級基本講座 渡辺徳太郎

TEL. 070-5545-2120 FAX. 0287-38-1031

5級基本講座(初心者講座) 渡辺 洋一

担当：事務局長 細川智彦

締切：2016年5月20日(金) 当日到着分まで有効

第20回日本太鼓全国フェスティバル

期日：2016年7月10日(日)

開場12:30 開演13:00 終演予定15:00

会場：四街道市文化センター(千葉県四街道市大日396 TEL. 043-423-1618)

主催：公益財団法人日本太鼓財団

主管：日本太鼓財団千葉県支部

後援：文化庁、千葉県、四街道市ほか

協賛：日本財団

入場料：前売券2,500円 当日券3,000円

出演：千葉県合同チーム(千葉)、加茂綱村太鼓(宮城)、愛宕陣太鼓連響風組(福島)、
銚子はね太鼓保存会(千葉)、助六太鼓(東京)、御陣乗太鼓保存会(石川)、富岳太鼓(静岡)、
倉敷天領太鼓(岡山)、橘太鼓「響座」(宮崎)、手取亢龍若鮎組(石川)

* 前売券発売中！ 四街道市文化センター(TEL.043-423-1618)

チケットぴあ(TEL.0570-02-9999 Pコード294-947)

熊本地震発生 熊本県と大分県を中心に大きな被害

このたびの熊本地震で被害を受けられた皆様に謹んでお見舞いとお悔やみを申し上げます。

太鼓関係者では家屋の損傷等の被害はあったものの、人的被害はありませんでした。日本太鼓財団として被害を受けた太鼓関係者への支援金を募ることになりました。

多くの太鼓仲間が被災をされています。少しでもお力になればとの思いから被害を受けた太鼓関係者に支援金をお送りしたいと思います。

個人・団体毎でも支部一括でも結構です。皆様のご協力をお願いいたします。

<支援金の口座>

三菱東京UFJ銀行 虎ノ門支店 普通1520760

日本太鼓財団 事務局 事務局長 大澤和彦